

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場取引所 大

上場会社名 横浜丸魚株式会社

コード番号 8045 URL <http://www.yokohama-maruuo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩瀬 一雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 成田 秀昭

TEL 045-459-2921

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	27,213	△4.8	△96	—	4	—	△0	—
24年3月期第2四半期	28,597	△11.8	△268	—	△161	—	△131	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △363百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △142百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△0.08	—
24年3月期第2四半期	△19.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	15,261	9,524	60.5
24年3月期	16,319	9,985	59.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 9,236百万円 24年3月期 9,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	10.00	10.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	1.7	50	—	200	—	150	—	22.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	7,261,706 株	24年3月期	7,261,706 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	659,104 株	24年3月期	656,611 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	6,604,180 株	24年3月期2Q	6,605,874 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興関連需要を背景として、一部の事業に緩やかな回復傾向がみられたものの、長期にわたるデフレ基調の経済環境や円高の影響に加え、欧州債務問題の深刻化、日中関係の悪化なども伴い、先行きは依然不透明で予断を許さない状況で推移しました。

当社グループの中核事業である水産物卸売事業におきましても、厳しい雇用情勢や所得の伸び悩みから消費者の生活防衛意識は依然として高く、また、水産物の市場外流通の増加や依然として続く原発事故に伴う風評被害などもあり、厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、平成23年度から平成25年度まで3カ年の中期経営計画「MMプラン2nd Stage」の二年次を迎え、新規顧客の開拓を積極的に行い、安全・安心な水産物を安定して供給するグッドリレーションカンパニーを目指すべく、グループ一体となって取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は27,213百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ1,383百万円(△4.8%)の減収となりましたが、売上総利益率の改善と大幅な経費削減により、営業損失は96百万円(前年同期 営業損失268百万円)、経常利益は4百万円(前年同期 経常損失161百万円)、四半期純損失は0百万円(前年同期 四半期純損失131百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(水産物卸売事業)

売上高は22,367百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ1,544百万円(△6.5%)の減収となりましたが、営業損失は61百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ62百万円(前年同期 営業損失123百万円)の改善となりました。

(水産物販売事業)

売上高は4,717百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ149百万円(3.3%)の増収となり、営業損失も49百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ106百万円(前年同期 営業損失156百万円)の改善となりました。

(不動産等賃貸事業)

売上高は9百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ2百万円(31.9%)の増収となりましたが、営業利益は6百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ2百万円(△26.0%)の減益となりました。

(運送事業)

売上高は119百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ8百万円(8.0%)の増収となり、営業利益も7百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ3百万円(94.6%)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、15,261百万円と前連結会計年度末に比べ1,058百万円減少しました。この主な要因は、現金及び預金の減少420百万円及び投資有価証券の減少545百万円によるものであります。

負債は、5,737百万円と前連結会計年度末に比べ597百万円減少しました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少342百万円及び長期繰延税金負債の減少201百万円によるものであります。

純資産は、9,524百万円と前連結会計年度末に比べ460百万円減少しました。この主な要因は、利益剰余金の減少66百万円及びその他有価証券評価差額金の減少365百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は2,523百万円と前連結会計年度末に比べ420百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローにおいては301百万円の支出となりました。この主な要因は、仕入債務の減少額342百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローにおいては22百万円の支出となりました。この主な要因は、有価証券の償還による収入60百万円及び有形固定資産の取得による支出25百万円並びに投資有価証券の取得による支出53百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローにおいては96百万円の支出となりました。この主な要因は、リース債務の返済による支出30百万円及び配当金の支払額65百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年5月18日に公表いたしました数値から変更はございません。なお、今回発表の1株当たり予想当期純利益の計算は、当第2四半期連結会計期間末の期中平均株式数によっております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,945	2,524
受取手形及び売掛金	3,959	3,935
有価証券	80	20
商品及び製品	1,027	1,127
繰延税金資産	19	15
その他	192	157
貸倒引当金	△514	△524
流動資産合計	7,710	7,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,085	1,065
土地	771	771
リース資産(純額)	89	65
その他(純額)	78	71
有形固定資産合計	2,025	1,973
無形固定資産		
ソフトウェア	107	88
その他	10	10
無形固定資産合計	117	99
投資その他の資産		
投資有価証券	6,377	5,832
長期貸付金	14	24
破産更生債権等	550	547
その他	50	53
貸倒引当金	△526	△525
投資その他の資産合計	6,466	5,932
固定資産合計	8,609	8,006
資産合計	16,319	15,261

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,338	2,995
未払法人税等	23	12
引当金	170	155
その他	358	324
流動負債合計	3,889	3,487
固定負債		
退職給付引当金	750	751
役員退職慰労引当金	89	102
資産除去債務	29	29
繰延税金負債	1,273	1,071
その他	302	294
固定負債合計	2,444	2,249
負債合計	6,334	5,737
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,541	1,541
資本剰余金	402	402
利益剰余金	5,867	5,800
自己株式	△366	△367
株主資本合計	7,444	7,377
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,225	1,859
その他の包括利益累計額合計	2,225	1,859
少数株主持分	315	287
純資産合計	9,985	9,524
負債純資産合計	16,319	15,261

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	28,597	27,213
売上原価	26,841	25,438
売上総利益	1,755	1,775
販売費及び一般管理費	2,024	1,871
営業損失(△)	△268	△96
営業外収益		
受取利息	8	3
受取配当金	85	84
その他	14	14
営業外収益合計	108	102
営業外費用		
支払利息	1	1
その他	0	0
営業外費用合計	1	1
経常利益又は経常損失(△)	△161	4
特別利益		
固定資産売却益	—	2
負ののれん発生益	0	7
その他	1	—
特別利益合計	2	9
特別損失		
固定資産除却損	0	—
投資有価証券評価損	21	—
その他	3	0
特別損失合計	25	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△185	13
法人税、住民税及び事業税	3	7
法人税等調整額	△53	3
法人税等合計	△49	11
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△135	1
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4	2
四半期純損失(△)	△131	△0

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△135	1
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	△365
その他の包括利益合計	△7	△365
四半期包括利益	△142	△363
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△138	△365
少数株主に係る四半期包括利益	△4	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△185	13
減価償却費	115	99
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△36	8
賞与引当金の増減額(△は減少)	△19	△15
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△86	13
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5	0
受取利息及び受取配当金	△93	△87
支払利息	1	1
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△2
有形固定資産除却損	0	—
投資有価証券評価損益(△は益)	21	0
売上債権の増減額(△は増加)	△93	27
たな卸資産の増減額(△は増加)	△183	△99
仕入債務の増減額(△は減少)	149	△342
未払消費税等の増減額(△は減少)	△0	△8
その他	△19	27
小計	△433	△361
利息及び配当金の受取額	84	78
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△32	△18
営業活動によるキャッシュ・フロー	△382	△301
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	6	—
有価証券の償還による収入	50	60
有形固定資産の取得による支出	△10	△25
有形固定資産の売却による収入	—	3
無形固定資産の取得による支出	△17	△0
投資有価証券の取得による支出	△245	△53
投資有価証券の売却による収入	5	8
貸付けによる支出	△8	△15
貸付金の回収による収入	7	5
その他の支出	△0	△4
その他の収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△213	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△98	△65
リース債務の返済による支出	△43	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	△142	△96
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△737	△420
現金及び現金同等物の期首残高	2,797	2,944
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,059	2,523

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。
- (6) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	23,911	4,567	7	110	28,597	—	28,597
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,600	69	30	115	1,816	△1,816	—
計	25,512	4,637	38	226	30,413	△1,816	28,597
セグメント利益又は損失 (△)	△123	△156	9	3	△267	△1	△268

(注) 1. セグメント利益の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去0百万円及び棚卸資産の未実現利益△1百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	22,367	4,717	9	119	27,213	—	27,213
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,532	86	30	107	1,757	△1,757	—
計	23,899	4,803	40	227	28,971	△1,757	27,213
セグメント利益又は損失 (△)	△61	△49	6	7	△96	0	△96

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、棚卸資産の未実現利益0百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響額は軽微であります。